

2013 年 5 月 2 日

BMW グループ、新年度も順調な滑り出し

- **第 1 四半期のグループ売上高は 175 億ユーロ**
- **EBIT20 億ユーロ**
- **EBT20 億ユーロ**
- **純利益 13 億ユーロ**
- **EBIT 利益率 11.6%**
- **BMW グループは 2013 年の見通しを再確認**

ミュンヘン発:

BMW グループは 2013 年第 1 四半期も引き続き好調を維持した。グループ売上高は 175 億 4,600 万ユーロ(前年同期:182 億 9,300 万ユーロ、-4.1%)となった。新技術への投資と人件費が増加し、世界的に厳しい市場環境にもかかわらず、第 1 四半期の金利払前税引前利益(EBIT)は 20 億 3,900 万ユーロ(前年同期:21 億 3,400 万ユーロ、-4.5%)にのぼり、グループの第 1 四半期の業績としては過去 2 番目のレベルに達した。EBIT 利益率は 11.6%であった。

1~3 月の税引前利益(EBT)は 20 億 300 万ユーロ(前年同期:20 億 8,000 万ユーロ、-3.7%)となった。グループの純利益は 13 億 1,200 万ユーロ(前年同期:13 億 5,200 万ユーロ、-3.0%)であった。BMW、MINI、ロールス・ロイスの 3 ブランドを合わせた 2013 年第 1 四半期の納車台数は、全世界で前年比 5.3%増の 44 万 8,200 台(前年同期:42 万 5,528 台)に達した。

ライトホーファー:売上高、収益ともに高い水準を維持

「現在、ヨーロッパの自動車市場は低迷していますが、BMW グループは 2013 年度も順調なスタートを切り、第 1 四半期の販売台数としては新記録を達成しました。しかも、新技術への多額の投資や世界的な厳しい市場環境にもかかわらず、売上高と収益ともに高い水準で維持することができました。自動車部門における第 1 四半期の営業利益率 9.9%という数字は、私たちが目指す持続的な利益目標としては最高のレベルです」と、BMW AG 取締役会会長 ノルベルト・ライトホーファーは木曜日、ミュンヘンでこのように述べた。

自動車部門:EBIT は 15 億 8,000 万ユーロ

自動車部門の第 1 四半期の売上高は 159 億 700 万ユーロ(前年同期:161 億 5,900 万ユーロ、-1.6%)に達し、前年同様の高いレベルを示した。新技術への多額の投資、地域的な売上構成の変化、全般的に厳しい市場環境を受けて、EBIT は 15 億 8,200 万ユーロとなり、前年同期を下回った(前年同期:18 億 8,000 万ユーロ、-15.9%)。自動車部門の第 1 四半期の EBIT 利益率は 9.9%、税引前利益は 15 億 1,600 万ユーロ(前年同期:18 億 2,200 万ユーロ、-16.8%)となった。

BMW ブランドは第 1 四半期販売台数の新記録を打ち立てることで、プレミアム・セグメントのグローバル・リーダーとしての地位を維持した。販売台数は 7.0%増の 38 万 1,404 台(前年

同期:35万6,548台)へと増加した。BMW X1、BMW 3シリーズ、BMW 5シリーズ、BMW 7シリーズは、それぞれのセグメントにおいてマーケット・リーダーの地位を堅持している。

BMW 1シリーズの第1四半期販売台数は5万3,906台(前年同期:5万4,160台、-0.5%)となり、前年とほぼ同じ数字に達した。BMW 3シリーズは急成長を遂げ、19.9%増となる10万9,309台(前年同期:9万1,189台)を記録した。BMW 5シリーズも引き続き非常に好調で、販売台数は4.3%増の8万5,731台(前年同期:8万2,231台)に達した。BMW 6シリーズもきわめて好調で、販売台数は6,174台(前年同期:4,651台、+32.7%)となった。

BMW Xファミリーの各種モデルも1~3月に好調を維持した。BMW X1の販売台数は27.6%増の3万7,680台(前年同期:2万9,532台)と急増した。BMW X3とBMW X5の第1四半期販売台数は、それぞれ新記録となる3万6,189台(前年同期:3万5,248台)と2万7,274台(前年同期:2万6,563台)に達し、いずれも2.7%増となった。BMW X6の販売台数は合計9,769台(前年同期:1万1,048台、-11.6%)であった。

MINIブランド全体の第1四半期販売台数は6万6,154台(前年同期:6万8,210台、-3.0%)となった。MINI Crossoverの販売台数は7.1%増の2万3,559台(前年同期:2万2,001台)に達した。MINI Roadsterの販売台数は2,288台(前年同期:980台)に倍増した。MINI ハッチバック・モデルの販売台数は合計2万9,519台(前年同期:3万692台、-3.8%)であった。第1四半期、オックスフォード工場の生産ラインは、設備改修のために4週間にわたって操業を停止した。3月には、MINI ファミリーに7番目のメンバーとなるスポーツ・アクティビティ・クーペMINI Pacemanが加わった。同モデルにより、年間販売台数の増加が期待されている。

超高級車セグメントにおけるロールス・ロイスの第1四半期販売台数は、前年同期770台から16.6%減の642台であった。3月には、これまでで最もパワフルなロールス・ロイスとなるレイスが発表された。このニュー・モデルの発売は、今年の年末を予定している。

第1四半期、BMW グループは世界のほぼ全地域においてその地位を強化した。ヨーロッパ(20万7,243台、+3.1%)、アメリカ(9万6,488台、+5.0%)、アジア(13万219台、+9.5%)での販売台数の増加が、BMW グループのバランスのとれた成長に貢献した。

米国および中国の販売台数はそれぞれ4.2%(7万9,117台)、7.5%(8万6,224台)の増加を示し、英国(4万5,757台、+17.4%)やロシア(9,394台、+21.0%)などその他の多くの市場ではさらに高い伸びを記録した。

対照的に、イタリア(1万6,006台、-5.1%)とフランス(1万5,343台、-7.4%)では前年を下回った。

モーターサイクル部門の収益が大幅に増加

モーターサイクル部門の第1四半期の売上高は、2.7%減の4億3,600万ユーロ(前年同期:4億4,800万ユーロ)に留まったが、EBITは37.8%増加して5,100万ユーロ(前年同期:3,700万ユーロ)、税引前利益は35.1%増の5,000万ユーロ(前年同期:3,700万ユーロ)となった。第1四半期におけるBMWブランドのモーターサイクルの販売台数は、厳しい市場環境の中で2万4,732台(前年同期:2万4,373台、+1.5%)を記録した。

2月には、ニューF 800 GTとBMW Motorradの90周年を記念した多くの特別仕様車(R 1200 R、R 1200 RT、R 1200 GS Adventure)が発売された。さらに3月には、大きな成功を収めた長距離エンデューロのR 1200 GSが続いた。

ファイナンシャル・サービス部門の業績が好調

ファイナンシャル・サービス部門は第 1 四半期も好調を維持し、売上高と収益のいずれにおいても記録的なレベルを達成した。売上高は 0.6%増の 48 億 3,000 万ユーロ(前年同期: 48 億ユーロ)となった。また、税引前利益は 4 億 4,900 万ユーロ(前年同期: 4 億 3,400 万ユーロ、+3.5%)であった。

新規リース／ファイナンス契約件数は世界全体で 11.2%増の 34 万 328 件(前年同期: 30 万 5,984 件)に達した。3 月末時点でのディーラーおよび小売顧客とのリース／ファイナンス契約件数は 7.1%増加し、合計 390 万 5,891 件(前年同期: 364 万 6,111 件)となった。

従業員数は 5.1%増加

BMW グループの 2013 年 3 月 31 日現在の従業員数は前年よりも増加し、世界全体で 5.1%増の 10 万 6,470 人(前年同期: 10 万 1,260 人)となった。BMW グループは、グループの乗用車に対する旺盛な需要に応え、技術革新を推進し、新技術を開発するために力となるエンジニアと熟練工を求めている。

BMW グループは引き続き年間目標を追求

BMW グループは、困難で不安定な経済環境にあっても年間目標を引き続き追求していく。「大部分のヨーロッパ市場では、この先数か月間あまり大きな利益は見込めず、経済情勢は厳しいままとされます」と、ライトホーファーは述べている。

2013 年、BMW グループは、引き続き世界の販売台数が前年を上回ることを目指している。「今期もさらなる販売台数の増加が予測され、最高記録を再び更新することになるでしょう」と、ライトホーファーは続けた。

BMW グループは、2013 年も設備投資を継続し、好調歩維持できるようにする。新技術と新しい車両コンセプト開発のための支出も引き続き増額することになっている。ニュー・モデルの導入は 2013 年だけで 11 モデルを予定し、2014 年末までの 2 年間ではおよそ 25 のニュー・モデルが投入され、このうち 10 モデルはまったくのニューフェイスとなる。

「新技術とニュー・モデル開発に多額の支出を予定し、さらに生産ネットワークにも投資する関係で、2013 年のグループの税引前利益は 2012 年とほぼ同レベルになると予想されます」と、ライトホーファーは再確認している。

逆風が厳しさを増す中、自動車部門は今期に 8~10%の金利払前税引前利益(EBIT)率を維持できる見通しとなっている。この EBIT 利益率の範囲は 2013 年以降の期間についても持続できると予想されるが、政治的・経済的な情勢によっては、実際の利益率目標を上方および下方修正する可能性もある。

モーターサイクル部門は今期、さらなる営業利益の増加を予測している。その原動力となる魅力的なニュー・モデルの中でも、R 1200 GS は部門の売上高と利益の増加に貢献すると期待されている。

ファイナンシャル・サービス部門も好調を維持する見通しで、資本金利益率は少なくとも 18%に達すると見込んでいる。

なお、以上に掲げた今期の予想数字は、世界の経済的・政治的な情勢が大きく変わらないという前提に基づいている。

BMW Group 2013 年第 1 四半期業績

		2013 年 第 1 四半期	2012 年 第 1 四半期*	増減率 (%)
販売台数				
自動車	台	448,200	425,528	5.3
内訳:				
BMW	台	381,404	356,548	7.0
MINI	台	66,154	68,210	-3.0
ロールス・ロイス	台	642	770	-16.6
モーターサイクル	台	24,732	24,373	1.5
従業員数¹		106,470	101,260	5.1
売上高	百万ユーロ	17,546	18,293	-4.1
内訳:				
自動車	百万ユーロ	15,907	16,159	-1.6
モーターサイクル	百万ユーロ	436	448	-2.7
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	4,830	4,800	0.6
調整科目	百万ユーロ	1	1	-
控除額	百万ユーロ	-3,628	-3,115	-16.5
金利払前税引前利益(EBIT)	百万ユーロ	2,039	2,134	-4.5
内訳:				
自動車	百万ユーロ	1,582	1,880	-15.9
モーターサイクル	百万ユーロ	51	37	37.8
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	450	426	5.6
調整科目	百万ユーロ	17	13	30.8
控除額	百万ユーロ	-61	-222	72.5
税引前利益	百万ユーロ	2,003	2,080	-3.7
内訳:				
自動車	百万ユーロ	1,516	1,822	-16.8
モーターサイクル	百万ユーロ	50	37	35.1
ファイナンシャル・サービス	百万ユーロ	449	434	3.5
調整科目	百万ユーロ	67	-19	-
控除額	百万ユーロ	-79	-194	59.3
所得税	百万ユーロ	-691	-728	5.1
純利益	百万ユーロ	1,312	1,352	-3.0
1 株当たり利益²	ユーロ	1.99/1.99	2.05/2.05	-2.9

*2012 年の数値は、IAS 第 19 号の改訂版に合わせ部分的に調整済み

¹ 休止中の雇用契約、退職前のパートタイム配置の労働・非労働段階の従業員、および低賃金労働者を除く

² 普通株/優先株 1 株当たりの利益